

令和2年度（2020年度）

金沢大学大学院法務研究科

入学試験問題

刑 法

B日程入試

（注意）

1. 問題冊子（表紙を含む）は2枚です。
2. 問題冊子は指示があるまで開かないで下さい。
3. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰って下さい。
4. 解答は、鉛筆、シャープペンシル、ペン、ボールペンのいずれで記入しても構いません。
5. 解答にあたっては、どの問題から解答しても構いません。ただし、どの問題についての解答であるのかを答案中に明示してください。

## 令和2年度（2020年度）金沢大学大学院法務研究科入学試験問題

試験科目	刑	法
------	---	---

以下の問題について解答しなさい。

### 問題1（5点×2）

以下の語句あるいは概念を説明しなさい。解答の際は、定義だけを記述するのではなく、学説の議論状況や判例の状況など解答すべき内容を問題に応じて自ら選択し、具体的な事例を自ら設定したうえでそれぞれ解答用紙5行程度で解答すること。

（1）旧派と新派

（2）緊急避難

### 問題2（15点）

次の事例におけるXの罪責を論じなさい。ただし、特別法違反の点は論じる必要はない。

A新聞社の記者であるXは、国内に約50万人の信者を有する宗教団体Bの教祖Cが、信者から集めたお布施を愛人Dおよびその息子Eに養育費として渡しているという情報を得たため、取材を開始した。XはBの元幹部FやDの近隣住民、さらには会計帳簿等綿密に取材を行い、取材した内容に確信を得て、大きな宗教団体の不正を社会に向け告発する目的で記事を執筆し、A新聞に掲載された。BおよびCからの告訴を受けて、Xに対する刑事訴訟公判が開始されたが、Fをはじめ公判において証言を翻す者が多数出たため、記事の内容が真実であると立証することは絶望的な情勢となった。